

測定方法、報告下限値等

区分	項目	測定方法等	表示方法				
			単位	報告 下限値	報告下限値 未満の 記載方法	有効数字 最大桁数	有効数字 最小の位
一般調査	天候	公共用水域水質測定結果電算入力要領のコード表（以下「コード表」と略す）の天候コードによる	—	—	—	—	—
	気温	日本産業規格（以下「JIS」と略す）K0102 7.1に定める方法	℃	—	—	—	小数点以下1桁
	水温	JIS K0102 7.2に定める方法	〃	—	—	—	〃
	流量	水質調査方法（昭和46年9月30日環水管第30号）の4の（1）の力に掲げる方法又はJIS K0094 8.4に定める方法	m ³ /sec	—	—	—	小数点以下2桁
	採取位置	コード表の採水部位コードによる	—	—	—	—	—
	干潮・満潮時刻	測定時刻前後の干潮・満潮時刻を潮位表（海上保安庁）により調べる	時 分	—	—	—	—
	透視度	JIS K0102 9に定める方法を準用し、透視度計は全長1mのものを用いる	m	—	—	—	小数点以下2桁
	透明度	海洋観測指針（第1部 気象庁）に掲げる方法	m	—	—	—	小数点以下1桁
	色相	コード表の色相コードによる	—	—	—	—	—
	水色	フォーレル・ウーレ水色標準液のNo.による	—	—	—	—	—
	臭気	コード表の臭気コードによる	—	—	—	—	—
生活環境項目	pH	昭和46年12月28日環境庁告示第59号（以下「告示」と略す）に掲げる方法	—	—	—	—	小数第2位を四捨五入し、小数点以下1桁
	DO	告示に掲げる方法	mg/L	0.5	<0.5	2桁	小数点以下1桁
	BOD	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	COD	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	SS	〃	〃	1	<1	〃	整数（1の位）
	大腸菌数※	〃	CFU/100mL	〃	〃	〃	〃
	n-ヘキサン抽出物質	〃	mg/L	0.5	<0.5	〃	〃
	全窒素	〃	〃	0.05	<0.05	〃	小数点以下2桁
	全りん	〃	〃	0.003	<0.003	〃	小数点以下3桁
	全亜鉛	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	ノニルフェノール	〃	〃	0.00006	<0.00006	〃	小数点以下5桁
	LAS	〃	〃	0.0006	<0.0006	〃	小数点以下4桁
特殊項目	フェノール類	〃	〃	0.005	<0.005	〃	小数点以下3桁
	銅	〃	〃	0.01	<0.01	〃	小数点以下2桁
	溶解性鉄	〃	〃	0.1	<0.1	〃	小数点以下1桁

区分	項 目	測 定 方 法 等	表 示 方 法				
			単 位	報 告 下 限 値	報告下限値 未 満 の 記 載 方 法	有効数字 最大桁数	有 効 数 字 最 小 の 位
特殊項目	溶解性マンガン	告示に掲げる方法	mg/L	0.02	<0.02	2桁	小数点以下2桁
	全クロム	〃	〃	0.05	<0.05	〃	〃
健康項目	カドミウム	〃	〃	0.0003	<0.0003	〃	小数点以下4桁
	全シアン	〃	〃	0.1	<0.1	〃	小数点以下1桁
	鉛	〃	〃	0.005	<0.005	〃	小数点以下3桁
	六価クロム	〃	〃	0.01	<0.01	〃	小数点以下2桁
	ひ素	〃	〃	0.005	<0.005	〃	小数点以下3桁
	総水銀	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	小数点以下4桁
	アルキル水銀	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	〃
	PCB	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	〃
	ジクロロメタン	〃	〃	0.002	<0.002	〃	小数点以下3桁
	四塩化炭素	〃	〃	0.0002	<0.0002	〃	小数点以下4桁
	1,2-ジクロロエタン	〃	〃	0.0004	<0.0004	〃	〃
	1,1-ジクロロエチレン	〃	〃	0.002	<0.002	〃	小数点以下3桁
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	〃	〃	0.002	<0.002	〃	〃
	1,1,1-トリクロロエタン	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	小数点以下4桁
	1,1,2-トリクロロエタン	〃	〃	0.0006	<0.0006	〃	〃
	トリクロロエチレン	〃	〃	0.001	<0.001	〃	小数点以下3桁
	テトラクロロエチレン	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	小数点以下4桁
	1,3-ジクロロプロペン	〃	〃	0.0002	<0.0002	〃	〃
	チウラム	〃	〃	0.0006	<0.0006	〃	〃
	シマジン	〃	〃	0.0003	<0.0003	〃	〃
	チオベンカルブ	〃	〃	0.002	<0.002	〃	小数点以下3桁
	ベンゼン	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	セレン	〃	〃	0.002	<0.002	〃	〃
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	下記の測定方法により測定した硝酸イオン濃度に換算係数0.2259を乗じたものと、同様に測定した亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。（注1）	〃	0.2	<0.2	〃	小数点以下1桁
	硝酸性窒素	告示に掲げる方法	〃	0.1	<0.1	〃	〃
	亜硝酸性窒素	〃	〃	0.1	<0.1	〃	〃
	ふっ素	〃	〃	0.08	<0.08	〃	小数点以下2桁

区分	項 目	測 定 方 法 等	表 示 方 法				
			単 位	報 告 下限値	報告下限値 未 満 の 記 載 方 法	有効数字 最大桁数	有 効 数 字 最 小 の 位
健康項目	ほう素	告示に掲げる方法	mg/L	0.02	<0.02	2桁	小数点以下2桁
	1,4-ジオキサン	〃	〃	0.005	<0.005	〃	小数点以下3桁
その他の項目	アンモニア性窒素	JIS K0102 42に定める方法により測定されたアンモニウムイオンの濃度に換算係数0.7766を乗じたもの	〃	0.1	<0.1	3桁	小数点以下1桁
	オルトリン酸態りん	JIS K0102 46.1.1に定める方法	〃	0.003	<0.003	〃	小数点以下3桁
	塩化物イオン	JIS K0102 35に定める方法	〃	2	<2	〃	整数（1の位）
	硫酸イオン	JIS K0102 41に定める方法	〃	5	<5	〃	〃
	アルミニウム及びその化合物	JIS K0102 58.3又は58.4に定める方法	〃	0.01	<0.01	2桁	小数点以下2桁
	陰イオン界面活性剤	JIS K0102 30.1に定める方法	〃	0.01	<0.01	3桁	〃
	クロロフィルa	上水試験方法25に定める方法	μg/L	1.0	<1.0	2桁	小数点以下1桁
	電気伝導率	JIS K0102 13に定める方法	mS/m	1	<1	—	整数（1の位）
	プランクトン	海洋観測指針（第1部 気象庁）に掲げる方法	—	—	—	—	—
トリハロメタン生成能	トリハロメタン生成能	平成6年7月14日環水管第149号・環水規第163号通知	mg/L	0.004	<0.004	2桁	小数点以下3桁
	クロロホルム生成能	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	ブロモジクロロメタン生成能	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	ジブロモクロロメタン生成能	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	ブロモホルム生成能	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
要監視項目	クロロホルム	平成15年11月5日 環水企発031105001号・ 環水管発031105001号	〃	0.0006	<0.0006	〃	小数点以下4桁
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	平成5年4月28日環水規第121号（最終改正：平成11年3月12日環水管69号）	〃	0.002	<0.002	〃	小数点以下3桁
	1,2-ジクロロプロパン	〃	〃	0.006	<0.006	〃	〃
	p-ジクロロベンゼン	〃	〃	0.02	<0.02	〃	小数点以下2桁
	イソキサチオン	〃	〃	0.0008	<0.0008	〃	小数点以下4桁
	ダイアジノン	〃	〃	0.0005	<0.0005	〃	〃
	フェントロチオン	〃	〃	0.0003	<0.0003	〃	〃
	イソプロチオラン	〃	〃	0.004	<0.004	〃	小数点以下3桁

区分	項 目	測 定 方 法 等	表 示 方 法				
			単 位	報 告 下限値	報告下限値未 満 の 記 載 方 法	有効 数字 最大 桁数	有 効 数 字 最 小 の 位
要 監 視 項 目	オキシ銅	平成5年4月28日環水規第121号（最終改正：平成11年3月12日環水管69号）	mg/L	0.004	<0.004	2桁	小数点以下3桁
	クロロタロニル	〃	〃	0.004	<0.004	〃	〃
	プロピザミド	〃	〃	0.0008	<0.0008	〃	小数点以下4桁
	E P N	〃	〃	0.0006	<0.0006	〃	〃
	ジクロロボス	〃	〃	0.001	<0.001	〃	小数点以下3桁
	フェノブカルブ	〃	〃	0.002	<0.002	〃	〃
	イプロベンホス	〃	〃	0.0008	<0.0008	〃	小数点以下4桁
	クロルニトロフェン	〃	〃	0.0001	<0.0001	〃	〃
	トルエン	〃	〃	0.06	<0.06	〃	小数点以下2桁
	キシレン	〃	〃	0.04	<0.04	〃	〃
	フタル酸 ジエチルヘキシル	〃	〃	0.006	<0.006	〃	小数点以下3桁
	ニッケル	〃	〃	0.001	<0.001	〃	〃
	モリブデン	〃	〃	0.007	<0.007	〃	〃
	アンチモン	平成16年3月31日 環水企発040331003号・ 環水土発040331005号	〃	0.0002	<0.0002	〃	小数点以下4桁
	フェノール	平成15年11月5日 環水企発031105001号・ 環水管発031105001号	〃	0.001	<0.001	〃	小数点以下3桁
	ホルムアルデヒド	〃	〃	0.003	<0.003	〃	〃
	塩化ビニルモノマー	平成16年3月31日 環水企発040331003号・ 環水土発040331005号	〃	0.0002	<0.0002	〃	小数点以下4桁
	エピクロロヒドリン	〃	〃	0.00004	<0.00004	〃	小数点以下5桁
	全マンガン	〃	〃	0.02	<0.02	〃	小数点以下2桁
	ウラン	〃	〃	0.0002	<0.0002	〃	小数点以下4桁
	4-tert- オクチルフェノール	平成25年3月27日 環水大発第1303272号	〃	0.00003	<0.00003	〃	小数点以下5桁
	アニリン	〃	〃	0.002	<0.002	〃	小数点以下3桁
	2,4- ジクロロフェノール	〃	〃	0.0003	<0.0003	〃	小数点以下4桁
	PFOS及びPFOA	令和2年5月28日 環水大発第2005281号・ 環水大発第2005282号	〃	0.0000003	<0.0000003	〃	小数点以下7桁

（注1） 2物質以上の濃度の和とされている項目については、まず、それぞれの物質の測定値の合計値を求めた後に、有効数字の桁数処理（注2参照）を行う。ただし、それぞれの物質の測定値のいずれかが報告下限値未満の場合は、その報告下限値未満に代えて報告下限値の数値を測定値として扱う。

（注2） pH以外の項目については、有効数字が2桁（3桁）の場合は3桁（4桁）目以下を切り捨てる。報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。

（※） 大腸菌数は令和3年10月7日改正告示により令和4年4月1日より従来の大腸菌群数に替わって生活環境項目環境基準とされた。